

4. 交通

(1) 社会経済動向の概要

【近年の社会動向】

①道路ネットワーク

- ・東京都特別区では他の主要都市と比べて自動車走行速度が低い。
- ・都市の骨格となる首都圏三環状道路（いわゆる中央環状線、外環道、圏央道）や、放射・環状方向の幹線街路の整備推進により、道路ネットワークの充実に向けた取組みが進められている。

②公共交通

- ・都市機能が高密度に集積する東京では、鉄道やバスをはじめとする公共交通網が発達している。
- ・首都圏の鉄道では、混雑緩和や速達性の向上等を目的として、国の審議会で示された路線の整備が着実に進展している。一方、地上式の鉄道は踏切が支障になり、交通渋滞や緊急車両の通行の支障となっている。

③交通安全

- ・交通事故の発生件数や死傷者数は減少傾向にあるが、依然として高い水準に止まっており、特に65歳以上の高齢者が関係する事故の割合が増加している。
- ・自転車の利用マナー等に起因する事故も発生している。



【課題】

- * 東京の国際的な競争力の強化や渋滞緩和による地球環境の保全などの視点から、道路ネットワークの構築や踏切の解消などが求められている。
- * 都心回帰等に伴う人口増加や高齢者人口の増大により、鉄道など公共交通網の充実とともに、駅など交通結節点における円滑な移動の確保に向けた取組みが必要となっている。
- * 生活道路での重点的な安全対策を中心とした、歩行者や自転車が安心して快適に移動できる空間の確保が求められている。

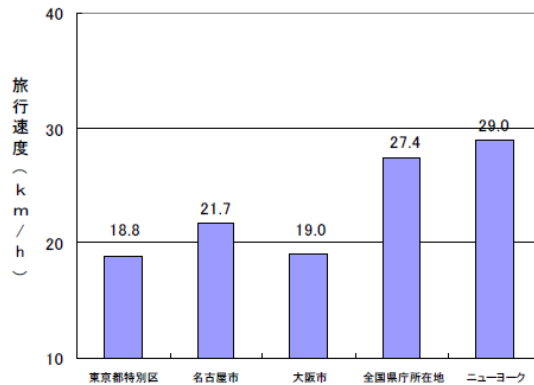
(2) 個別分野の内容

① 首都圏における道路交通網に関する動向

a) 道路交通の状況

東京都特別区の平均旅行速度（図表 4-1 の注参照）は他の大都市圏や県庁所在地などと比較しても低く、交通渋滞により経済損失のみならず、環境への負荷が増大している。

図表 4-1 特別区および主要都市、県庁所在地、ニューヨークの平均旅行速度比較



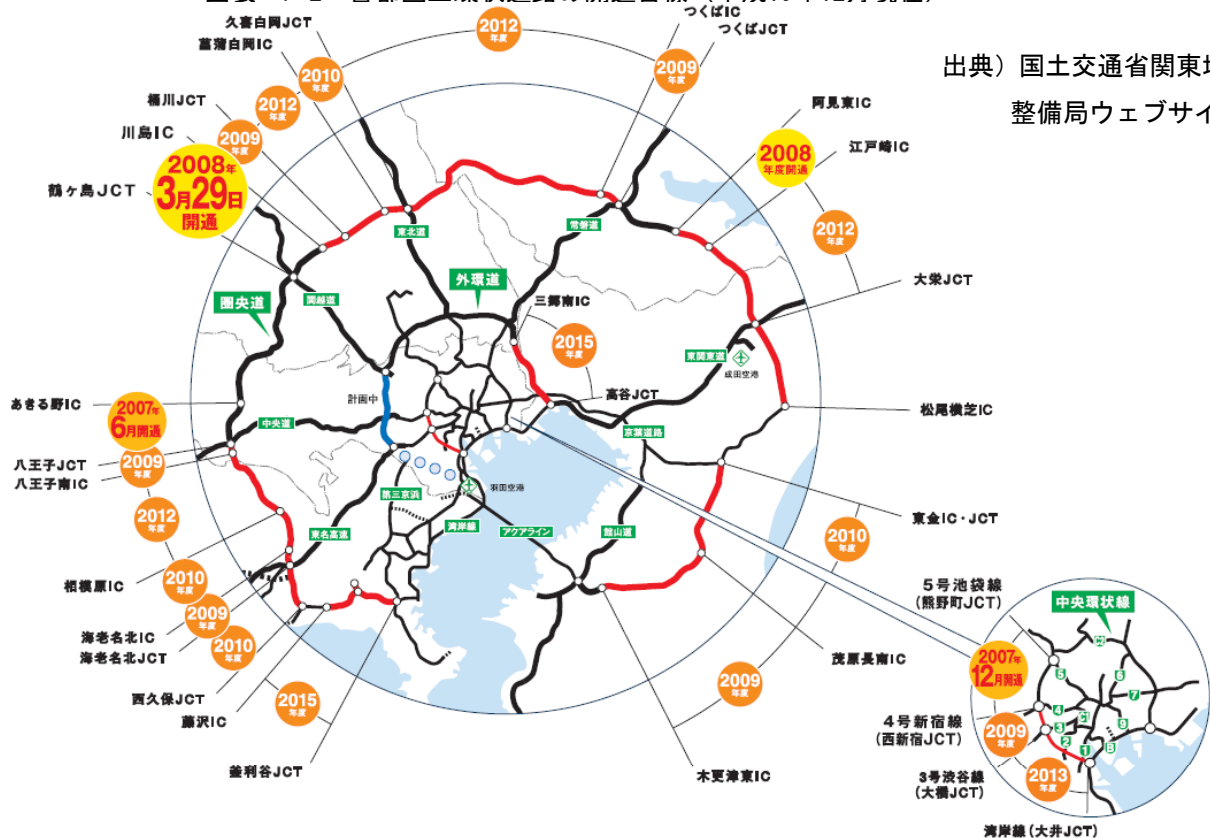
注) 旅行速度とは調査区間の距離を混雑時の所要時間で除した平均速度。

出典) 国土審議会第19回計画部会資料(平成19年1月)

b) 首都圏三環状道路(中央環状線、外環道、圏央道)に関する状況

都心部の混雑解消にむけた取組みのひとつである首都圏三環状道路(いわゆるは、平成20年代半ばまでに全体の約9割が完成する見通しとなっている。ただし外環道の大泉インターより南側の区間については現在、基本計画もしくは構想中の区間となっている。

図表 4-2 首都圏三環状道路の開通目標(平成19年12月現在)

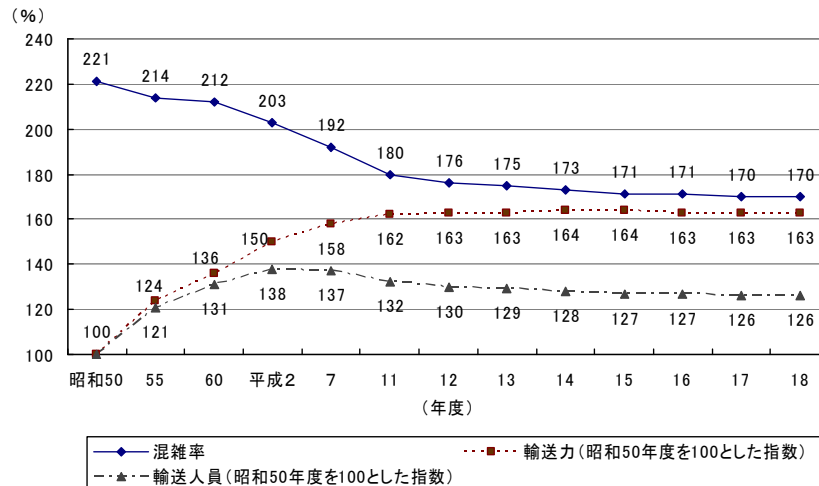


② 公共交通

a) 混雑率の状況

東京圏 31 区間における都市鉄道の混雑率は、緩和傾向にあったが、都心を中心に近年増加傾向にあり、当面達成すべき混雑率である 180% を下回っている。

図表 4-3 東京圏31区間における混雑率、輸送力、輸送人員の推移



注) 運輸政策審議会(現交通政策審議会)の答申(平成 12 年 8 月)において、混雑率に関する指標として、東京圏については、当面、主要区間の平均混雑率を全体として 150%以内とするとともに、すべての区間のそれぞれの混雑率を 180%以内とすることとされている。

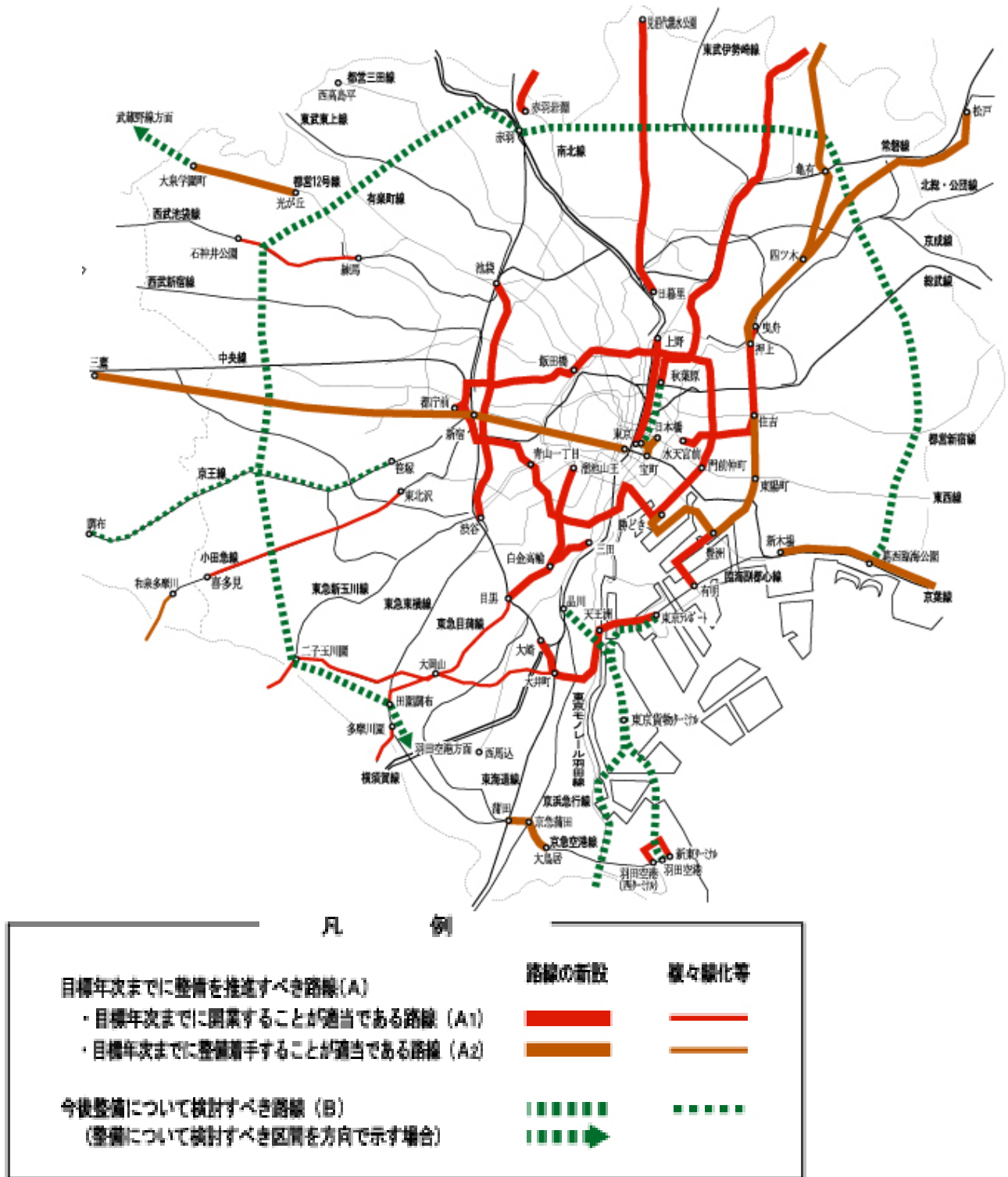
東京圏 31 区間とは国土交通省において昭和 30 年から継続的に混雑率の統計を取っている区間で、JR、主要私鉄、地下鉄一部路線の特定区間(ある駅から別の駅までの区間)が指定されている。

資料) 国土交通省「平成 19 年度 国土交通白書」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

b) 今後整備すべき路線について

運輸政策審議会(現交通政策審議会)の平成 12(2000)年 1 月の答申において、平成 27(2015)年の目標年次までに整備もしくは着工すべき路線(A路線)と今後整備に向けて検討すべき路線(B路線)が定められており、都区部においても、複数の路線がA路線として位置づけられている。

図表 4-4 東京都区部における運輸政策審議会答申による整備路線

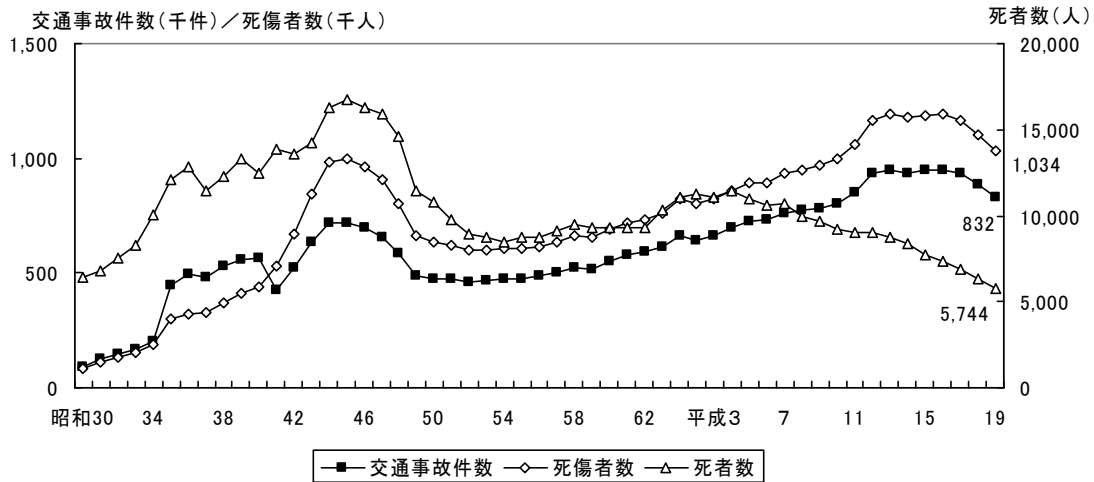


出典) 運輸政策審議会(現交通政策審議会)「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について(答申)」(平成12年1月)

③ 交通安全

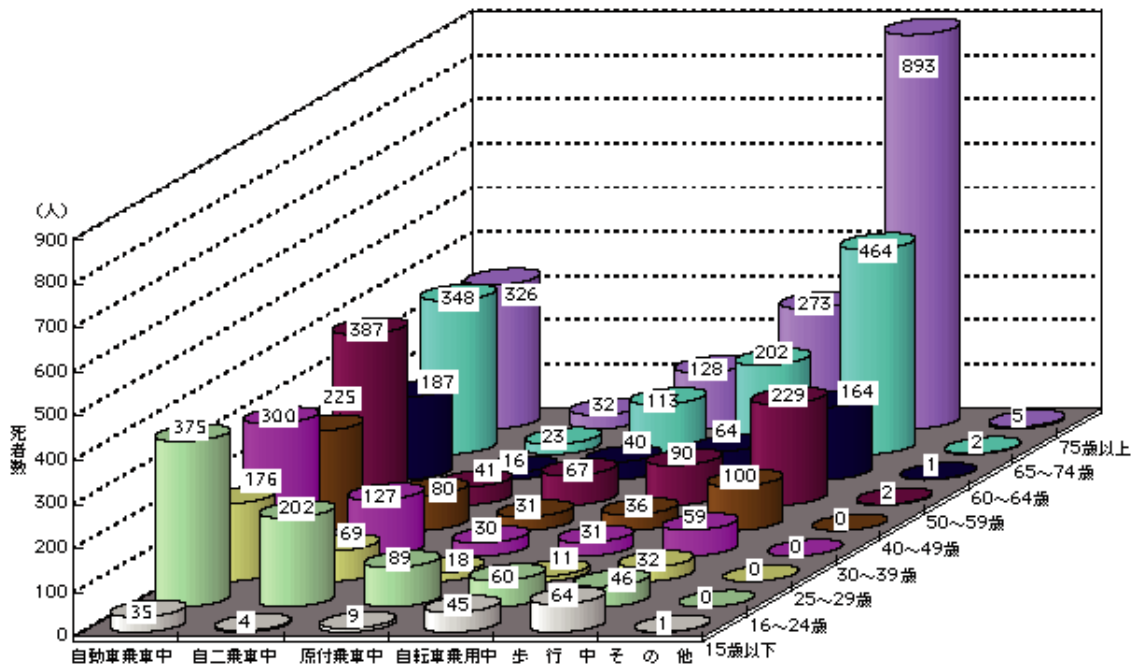
わが国の交通事故の発生件数および死傷者数は近年減少傾向を示し、平成19(2007)年の交通事故は約83万件、死者数は約5,700人、死傷者数は約100万人以上となっている。年齢別にみると、特に高齢者の事故が多くなっている。

図表 4-5 交通事故件数および死傷者数等の推移



資料) 警察庁交通局「平成19年中の交通事故の発生状況」(平成20年2月)より
三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

図表 4-6 年齢別・状態別の交通事故死者数(平成18年)



出典) 警察庁「平成19年警察白書」